



平成 25 年 10 月 8 日

独立行政法人国立科学博物館

ミニ企画展「江戸のあかりと灯用植物」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 岩科 司)において、来る 11 月 1 日(金)から 11 月 10 日(日)まで、ミニ企画展「江戸のあかりと灯用植物」を開催いたします。

本企画展では江戸時代のあかりとあかりに使われた 50 種類以上の植物を紹介し、忘れつつある植物利用の知識を思い出すと同時に「あかり」という視点を通して、身の回りにある植物を自然科学的な視点とは別の観点から眺めることにより、植物を見る目を養います。

また、展示では、資料を見て、植物を観察するとともに、火打ちや火おこし、油しぼりを体験できるほか、和ろうそくの制作実演を行います。

つきましては、展示のオープンに先立ち、10 月 31 日(木)午後 2 時～3 時の間、プレス内覧会を実施いたしますので、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて 10 月 25 日(金)までにお知らせ下さい。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：前島 正裕(理工学研究部科学技術史グループ)

國府方 吾郎(植物研究部多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: nishida@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>

ミニ企画展「江戸のあかりと灯用植物」展示概要

1. 名 称 ミニ企画展「江戸のあかりと灯用植物」
2. 期 間 平成 25 年 11 月 1 日（金）から 11 月 10 日（日）までの 9 日間
※但し、11 月 5 日（火）は休園日、11 月 3 日（日・祝）は無料入園日
3. 場 所 国立科学博物館筑波実験植物園
4. 展示内容及び関連企画

（１）江戸のあかりと灯用植物の展示

現代では、「あかり」と言えばほとんど電気による照明です。しかし、江戸時代までは植物などから得た油を燃やす灯火が一般的でした。江戸時代には地場産業が盛んになり流通も発達して、一般の庶民も明かりを使えるようになりました。油以外でも、燈火器やそれに火をつけるために必要な火口やつけ火など、地方により様々な植物を上手に利用していました。本展では江戸時代のあかりと、あかりに使われた多様な植物やその工夫をご紹介します。



角行燈



イヌガヤの実



エゴマ

（２）展示案内

- ①日時 平成 25 年 11 月 3 日（日）午前 11 時～11 時 30 分、午後 2 時～2 時 30 分
- ②会場 研修展示館
- ③内容 科学技術史の専門家による展示解説。
- ④定員 各回先着 30 名

（３）和ろうそく実演

- ①日時 平成 25 年 11 月 3 日（日）午前 10 時～12 時、
午後 1 時 30 分～4 時
- ②会場 教育棟
- ③内容 和ろうそく職人による和ろうそく制作の様子を公開します。
- ④実演者 株式会社 大與 3 代目 大西 明弘 氏



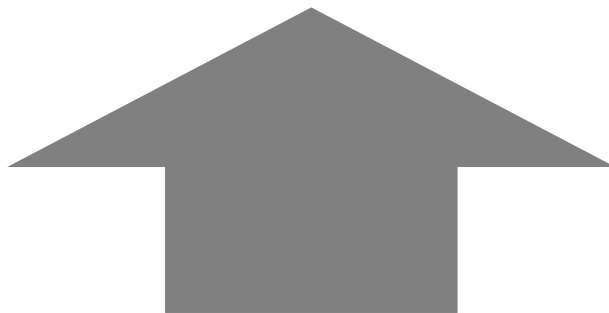
和ろうそく制作の様子

(4) 体験イベント「火をおこそう」

- ①日時 平成 25 年 11 月 2 日（土）、10 日（日） 各日午前 10 時 30 分～11 時 15 分、午後 1 時 30 分～2 時 15 分
- ②会場 多目的温室
- ③内容 火打石や、木と木を擦る火切りを使って火をおこす体験ができます。
- ④定員 各回先着 16 名

(5) 体験イベント「油をしぼろう」

- ①日時 平成 25 年 11 月 2 日（土）、4 日（月）、9 日（土）、10 日（日） 各日午後 3 時～3 時 45 分
- ②会場 教育棟
- ③内容 ツバキや荏胡麻などの種子から油を搾って、明かりを灯します
- ④定員 各回先着 16 名



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 2 9 - 8 5 3 - 8 9 9 8 >

国立科学博物館筑波実験植物園

「江戸のあかりと灯用植物」内覧会参加票

(平成 25 年 10 月 31 日 (木) 午後 2 時～3 時)

受付：午後 1 時 50 分 同園教育棟ロビー

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、平成25年10月25日までにFAXにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

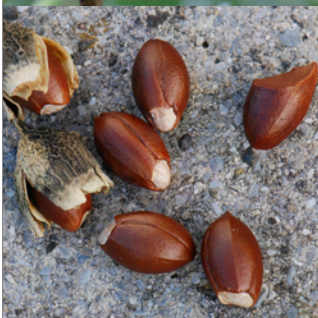
備考 _____



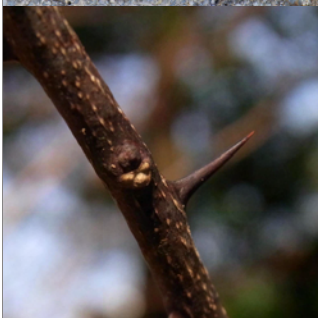
ムラサキシキブ



シャヤンボ



ハクワンボク



イマザンショウ



イヌカヤ



ヤマウルシ



ヤブツバキ



ミヅタ



イ



ウツギ



ミズキ

秋深し江戸の夜
照らすは植物の灯火なり



11月3日(日・祝)は
無料入園日



ヒメガマ

2013.11.1(金) - 11.10(日)

国立科学博物館 筑波実験植物園

入園料=一般300円/高校生以下・65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその引率1名さまは無料

開園時間=9:00-16:30(入園は16:00まで) 休園日=11/5(火)

所在地=〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1

tel 029-851-5159 fax 029-853-8998 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

主催=国立科学博物館 筑波実験植物園

江戸の
あかりと
灯用植物

ほんとうに江戸で使われていた
あかりと植物たち



江戸の あかりと 灯用植物



現代では、「あかり」と言えば電気による照明が一般的です。しかし江戸時代までは植物などから得た油を燃やしてあかりとしていました。江戸時代には地場産業が盛んとなり流通も発達して、一般の庶民もあかりを使うことができるようになりました。油以外でも、燈火器やそれに火をつけるために必要な火口やつけ木など、地方によりさまざまな植物を上手に利用していました。本展では江戸時代のあかりと、あかりに使われた多様な植物やその工夫をご紹介します。

江戸のあかり

人々が普段の生活の中で「あかり」を使うようになったのは江戸時代です。屋内用の行灯や燭台、小型の小さなあかり「ひょうそく」や大広間に上から吊るす八間（はちけん）、携帯用の小型の手燭や提灯など、生活の様々なシーンで使う「あかり」が工夫され、暮らしの中で活用されました。あかりの普及は、人々の生活や文化の幅を広げたのです。

植物とあかり

石油、ガスや電気が登場する以前は、動植物からとった油や蠟（ろう）に火を灯し、あかりとしました。油の原料はイヌガヤやツバキなどの木の実や、荏胡麻（えごま）や菜種などの草の実です。蠟は漆や燭（はぜ）などの実を原料にした木蠟です。これら燃料となる油や蠟や火をつけるために必要な火口、つけ木、さらに燈火器そのものにも、多くの種類の植物が利用されました。かつて「あかり」に使われていた植物は百種類を超えます。園内には五十種類以上も植栽されています。いくつか見つけられますか？



ヤブツバキ

フタ



丸行燈

提灯

角行燈

体験！

火をおこそう 「火きり」や「火打ち」を体験しよう。

11/2(土)・11/10(日) 10:30-11:15/13:30-14:15 〈会場〉多目的温室 〈定員〉各回16名

体験！

油をしぼろう ツバキやエゴマなどの実をしぼってあかりを灯そう。

11/2(土)・11/4(月・振休)・11/9(土)・11/10(日) 15:00-15:45 〈会場〉教育棟 〈定員〉各回16名

展示案内 専門家による展示解説です。(講師：国立科学博物館理工学研究部 前島正裕)

11/3(日・祝) 11:00-11:30/14:00-14:30 〈会場〉研修展示館 〈定員〉各回30名

和ろうそく実演 和ろうそく職人によるろうそく制作の様子を公開します。

11/3(日・祝) 10:00-12:00/13:30-16:00 〈会場〉教育棟



和ろうそく制作

関連催事

予約不要



国立科学博物館 筑波実験植物園

- 自動車
常磐自動車道桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km 無料駐車場120台
- 電車・バスで

【つくば方面へのアクセス】

つくばエクスプレス線「秋葉原駅」から「つくば駅」へ〈快速利用で45分〉

東京駅(八重洲南口)から高速バスにて「つくばセンター」へ〈約60分〉

【つくば駅つくばセンターバスターミナル】からのアクセス(※)

つくば駅隣接バスターミナルより関東鉄道バス〈約5分・160円〉

5番乗り場：テクノパーク大橋行き「筑波実験植物園前」下車徒歩2分

6番乗り場：筑波大学循環(左回り)「天久保二丁目」下車徒歩8分

つくばサイエンスツアーバス土日祝日運行(大人500円・小人250円乗降り自由)

つくば駅発→9:15, 10:25, 11:35, 13:45, 14:55(乗車券はT Xつくば駅改札前で販売)

(※)つくばセンター路線バス時刻

天久保二丁目で降車ご予約のお客様へ
バスを降りましたら、バスの進行方向へ直進します。「筑波大学野球場口」付近、鉄塔のある角を右に曲がってください。

筑波実験植物園前 5番乗り場 下車	平日		土日祝	
	9	10	11	12
9				
10	0	55		
11				
12				
13			20	
14	0			
15				

天久保二丁目 6番乗り場 下車	平日		土日祝	
	9	10	11	12
9	10	30	50	0
10	10	30	50	20
11	10	30	50	40
12	10	30	50	20
13	10	30	50	0
14	10	30	50	20
15	10	30	50	0

